

## 北京—大連—仙台便が再開しました！

仙台と中国・北京を大連経由で結ぶフライトが復活し、今後日中往来が活発化していくことが期待されます。このような状況下における現在の日中のフライト状況やビザの状況についてご紹介します。

### ◆仙台国際空港の国際線について

新型コロナウイルスの影響で2020年3月から運休していた中国国際航空の北京—大連—仙台便が約3年半ぶりに再開しました。再開日の7月25日には仙台国際空港内で運航再開記念セレモニーが開催され、大連を出発した第一便の搭乗客をむすび丸や伊達武将隊などが出迎えました。同便の再開により、仙台国際空港発着の国際線は台北、ソウル便を含めて3路線となりました。

便名	路線	運航時刻	運航日
CA155	北京⇒大連	07:10—08:45	火、金
	大連⇒仙台	09:50—13:30	
CA156	仙台⇒大連	14:30—16:40	
	大連⇒北京	17:45—19:25	

中国国際航空 北京—大連—仙台便の運航情報（7月25日時点）



仙台空港でのセレモニーの様子

### ◆日中間のフライト増加について

コロナ禍、各航空会社の中国向けフライト数は制限されていたことから、大連発着便も日本航空の大連—東京（成田）便の1路線の運航でした。しかし、フライト数の制限がなくなり、かつ日中双方の空港の受入体制等が整備されたことから、最近では地方便も多く再開されています。8月には日本と大連を結ぶ定期便は航空会社5社が10路線（地方路線は仙台、名古屋、広島、福岡）を運航するまで回復します。一方、日本の東北地方では今回再開した北京—大連—仙台便のほか、上海—岩手花巻便と上海—仙台便がコロナ禍前に運航していましたが、現在も運休が続いています。上海—仙台便については、近々再開予定との報道もあり、早期の復活が期待されています。



大連周水子空港での出発前の様子

### ◆中国渡航ビザの現状について

7月23日、中国政府はシンガポールとブルネイに対する中国短期滞在のビザ（査証）免除措置の再開を発表しました。新型コロナウイルスの感染拡大前は日本人も15日以内の短期滞在であればビザ取得を免除されていましたが、未だに日本人のビザ免除措置は再開されていません。そのため、現在も中国を訪問する際は滞在日数に関わらずビザの取得が必要となります。北京—大連—仙台便が再開されましたが、中国へ観光で訪問するにはハードルが高い状況が続いており、日本からの本路線の利用客はしばらくはビジネス客がメインとなることが想定されます。

（中国・大連駐在（宮城県大連事務所出向）村田 篤俊）

#### 【お問合せ先】

七十七銀行 市場国際部 アジアビジネス支援室  
TEL.022-211-9880

#### 【Global Letter NEXT ホームページ】

その他の記事はこちらからご覧ください。

[https://www.77bank.co.jp/kokusai/globalletter\\_next/](https://www.77bank.co.jp/kokusai/globalletter_next/)

本紙記載の内容につきましては、当行が信頼できると考える情報に基づき作成しておりますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談いただくようお願い申し上げます。